

梅の花に囲まれ ひな人形がお迎えする 早春の「雨岳文庫」

雨岳文庫とは、大山（雨降山）に由来する、上粕屋にある幕末最後の代官屋敷であった「山口家住宅」および公益財団法人雨岳文庫が管理する 2 万点に及ぶ古文書・古美術品・什器を含むすべての文化財の総称です。

山口家住宅は 1834（天保 5）年頃の建築と推定され、江戸時代、上粕屋村の名主の一つとして代々地域を守ってきた山口家の住まいです。明治初期には相州西部の自由民権運動の「湘南講学会」の会場にもなったことから、自由民権運動発祥の地の一つとしても知られているほか、通常の民家建築とは一線を画す規模・造り・精巧さを誇る「主屋」と「離れ」は国の登録有形文化財となっており、本市にとっても重要な文化財の一つです。

この度、屋敷周りの梅園の開放（2/11～3/9）に合わせて、初日に取材の場を設けます。当日は、昭和 8 年から愛でられている「ひな人形」の展示をご覧いただけるほか、「雨岳文庫 友の会」有志による解説のもと、山口家住宅及び資料館、梅園のご案内を行いますので、ぜひ取材いただけますようお願いいたします。



山口家住宅



大山を望む梅園

1. 日時 令和 7 年 2 月 11 日（火・祝）
午前 10 時～正午頃

2. 場所 雨岳文庫（上粕屋 862）

3. 添付 園庭の開放について（チラシ）

4. 取材について

取材・撮影のご希望は、【2 月 5 日（水）まで】に広報戦略課（0463-94-4864）へご連絡ください。

担当・問い合わせ先

雨岳文庫に関して 教育総務課（文化財係） 0463-74-5109

梅園の開放

開催期間中は梅園を散策可（無料）

大山の麓
梅の花に囲まれ
ひな人形がお迎えする
早春の古民家・山口家住宅

2/11(火・祝)～3/9(日) 10時～15時

「最後の代官屋敷」

国登録有形文化財 山口家住宅

※1998年(平成10年)登録

山口家住宅は、1834年(天保5年)頃の建築と推定され、築約190年の古民家である。また、山口家は旗本間部(まなべ)領に在って、代々間部家の国許用人を務めてきた。

1864年(元治元年)、間部氏より民家だった山口家住宅を地代官所に改装することが指示され、石倉から七五三引(しめひき)村に約700m曳(ひ)き家するとともに、武家屋敷風に改装した。しかし、曳家中に明治になったことから、地代官所は山口家の居宅となった。

明治初期には、相州で最初にして最大の自由民権結社「湘南社」の学習の場である『湘南講学会』の会場として使われた。

(問合せ先) 公益財団法人雨岳文庫事務局
0463-95-0002



【アクセス】



ひな人形の展示

2/11(火・祝)と期間中の日曜日 (大人 300 円：山口家住宅見学科込)